

第19回

学生が
選んだ

「もっと学びたい」、「もっと学んでほしい」
—そんな学生と教員の思いを近づけるために

「ベストティーチャー」発表！

2024年度「学生による授業評価アンケート」の結果から、各学部で総合的評価がもっとも高い先生を選びました。選ばれた先生方の声をお届けいたします。



国際学部、文学部(英文学科)

Susan E. JONES 先生

翻訳の学びを通して、言語や文化の違いをつなぐことの大切さを一人ひとりの学生に理解してほしいと考えています。

* 担当科目: Translation Theory and Technique、Graduation Thesis Seminar など



文学部(総合文化学科)

朴 秀娟 先生

一人ではなかなか経験できない世界に触れられる「教室」。授業ではその時間と空間を大切に活動も多く取り入れるようにしています。

* 担当科目: 日本語学研究(V)、日本語(III)アカデミック・スキルズ(話し言葉)など



音楽学部(音楽学科)

八木澤 教司 先生

“音楽が大好き”という共通の思いをきっかけに出会えた学生たちと、本学ならではの素晴らしい環境で今年度も研究を続けます！

* 担当科目: 音楽理論、吹奏楽研究、ウインド・オーケストラ など



心理学部、人間科学部(心理・行動科学科)

木村 昌紀 先生

心はいつでも、どこでも働いています。どのような社会を設計し、実現するかも、人の心抜きにありえません。心理学は一生関わります。

* 担当科目: 心理学入門ゼミ、対人関係心理学、人間行動学演習Ⅱなど



生命環境学部、人間科学部(環境・バイオサイエンス学科)

高岡 素子 先生

「もっと知りたい」という気持ちを大切にしてください。その好奇心こそが、学ぶ楽しさであり、人生を豊かにする力になります。「学び」はあなたを縛るものではなく、あなたを自由にするもの。

* 担当科目: 食品学、食品学基礎実習、生命科学基礎実習 など

担当: 学長室(FDセンター)

私

の

授

業

風

景

学
生が
選

ん

だ
べ
ス
トテ
ィ
ー
チ
ャー

第

19

回

神

戸

女

学

院

大

学

授

業

論

2024年度の「学生による授業評価アンケート」の結果から、各学部で総合的評価がもっとも高い先生を選びました。神戸女学院大学では、「もっと学びたい」、「もっと学んでほしい」、学生と教員のそんな思いを近づけることをめざしています。

学長室(FDセンター)

Susan E. JONES先生



AI翻訳が当たり前になった現代では、学生が自分で翻訳を学ぶ意義を実感しにくいかもしれません。翻訳の学びを通して、言語や文化の違いをつなぐことの大切さを一人ひとりの学生に理解してほしいと考えています。こうした橋渡しは、AI翻訳ではまだ十分に対応できない部分です。神戸女学院大学の学生には、自分の手で行う翻訳の価値を深く理解し、AIツールをどのように、いつ活用すべきかを見極めながら、自らの表現を高められる力を身につけて卒業してほしいと願っています。

朴 秀娟先生



みんなが集まっている「教室」だからこそできることを意識した授業づくりを心がけています。私は日本語教育に関わる授業を主に担当していますが、多くの学生にとって日本語教育というのは経験したことのない未知の世界です。一人ではなかなか経験できない世界に触れられる「教室」。授業ではその時間と空間を大切に活動も多く取り入れるようにしています。みなさんも「教室」だからこそできることは何かを考えながら授業に出てみてください。授業への取り組み方が変わってくると思いますよ。

八木澤 教司先生



関東から関西に拠点を移し本学に着任して6年目。国内外の作曲家や出版社と提携し、作品開発・CDレーコーディングを通して、吹奏楽界に影響力のある発信をしてきた「ウインドオーケストラ」の授業。熱心に取り組む学生たちの姿を目にして「音楽を奏でる喜び」を改めて感じています。「音楽理論」では知識だけでなく、音楽をより深く楽しむ心得を伝えたいです。「音楽が大好き」という共通の思いをきっかけに出会えた学生たちと、本学ならではの素晴らしい環境で今年度も研究を続けます！

木村 昌紀先生



心はいつでも、どこでも働いています。自分1人でも人との関わりでも、年老いても、家庭や学校、社会でも、心の働きはあります。モノづくりでも、人がどう感じるかが大切です。どのような社会を設計し、実現するかも、人の心抜きにありえません。心理学は一生関わります。私は心理学を知り、学問の楽しさを知り、心理学から出発して他の分野にも関心が広がりました。その中で多くの出会いがあり、今の私を形作っています。私が得たものを皆さんと共有し、一緒にさらに学んでいけたら嬉しいです。

高岡 素子先生



「学びは自由になるための翼」
学ぶことは、単なる知識の習得ではありません。それは、自分の考えを持ち、選択し、行動する知恵や力を身につけることです。大学での学びを通して、新しい世界が見えてきます。そして、これまで気づかなかった可能性に出会うことができます。どんなに小さなことでも、「もっと知りたい」と思う気持ちを大切にしてください。その好奇心こそが、学ぶ楽しさであり、人生を豊かにする力になります。「学び」はあなたを縛るものではなく、あなたを自由にするもの。